
(後期) 1～4年次・選択

【概要・目標】

心理学は教育・医療・福祉の対人援助職に必須であり、例えば社会福祉士は「心理学理論と心理的支援」という科目を必ず受講している。本学医学部でも「心理学」は必修である。従って、他職種連携を目指すためには必要な素養である。今年度はゼミナール形式で、卒業後のキャリアアップを見据えた知識習得のための心理学概論書の講読を行う。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 心理学の生い立ち(序章)
 - 2) 心の生物学的基盤(第2章)
 - 3) 意識と二重路線の心(第3章)
 - 4) 生得要因、獲得要因、人間の多様性(第4章)
 - 5) 生涯を通じての発達(第5章)
 - 6) 感覚・知覚:(第6章)
 - 7) 学習(第7章)
 - 8) 記憶(第8章)
 - 9) 思考と言語(第9章)
 - 10) 知能(第10章)
 - 11) 動機づけと仕事(第11章)
 - 12) 情動とストレスと健康(第12章)
 - 13) パーソナリティ(第13章)
 - 14) 精神疾患(第15章)
 - 15) セラピー(第16章)
-

【評価】

●受講生は「予習・復習ペーパー」(1通当たり12点満点)を10通提出し、そのうち上位9通の合計(108点満点)が絶対評価される。100点を超過した分は切り捨てとなる。9通未満の場合は不合格となる。提出する回は自身で選ぶことになるが、その次の回で採点済みを受け取らなければ無効となる。

※今年度は再試験の実施はない。最終的に不合格になった場合、追加課題はない。

●「予習・復習ペーパー」は授業前のリーディングで関心を持ったことを記述し、授業後にその関心がどのように展開されたかを記すペーパー課題である。予習と復習それぞれに対してA4サイズ用紙1ページのみ10-12ポイントの文字で1000文字以上の記述が必要である。ディスカッション不参加の場合は、無効となる。第1回の授業もこの課題の対象となる。

【教科書】

マイヤーズ(著)村上郁也(訳)「マイヤーズ心理学 カラー版」西村書店 2015

※必携である。本体9,500円と高価であるが、自学自習に適しているため、キャリアアップの“投資対象”として悪くはない。尚、第14章は「人間関係論」の内容と重複している。

【推薦参考図書】

第1回配布予定の授業進行用シラバスを参照のこと。

【その他】

1. 授業に関する質問などは、「オフィスアワー」時間帯(研究室ドアに掲示)でしか対応できない。
2. 今年度は少人数ゼミナール形式で実施するため、「A組」「B組」の2クラス編成となる可能性がある。その場合は、4月の履修登録の際に掲示する。